

太鼓部が中山中と交流

太鼓の技演奏で高め合う

高山の中山中生有志
飛騨高山高生と交流

高山市中山中学校の生徒有志による「立志太鼓」と、同市の飛騨高山高校の太鼓部の演奏交流会が18日、同中で開かれた。中学生と高校生が練習の成果を披露し、互いの意欲や技を高め合った。

立志太鼓は、演奏を通じて団結力を高めようと約40年前に始まり、毎年3年生が引き継ぐ。今年は36代目を担う約50人が、放課後に練習を重ねてきた。交流会は5年ぶりで、高

校生16人が訪れた。初めて中学生が演奏した後、高校生が、2023年度の県大会で3位に輝いた腕前を披露。全身を大きく動かしながらばちを振るい、息の合ったリズムを奏でた。その後

は合同での練習もあり、「耳の横にはちで円を描くように」などコツを伝授した。

立志太鼓のリーダーを務める山下泰虎さん(15)は「体の表現や音の出し方など、レベルが全然違って感

合同練習で一緒にばちを振るう生徒＝高山市中山中



動した。アドバイスを基に、高校生のようなカッコいい演奏ができるようになりたい」と話していた。

(北川鈴乃)